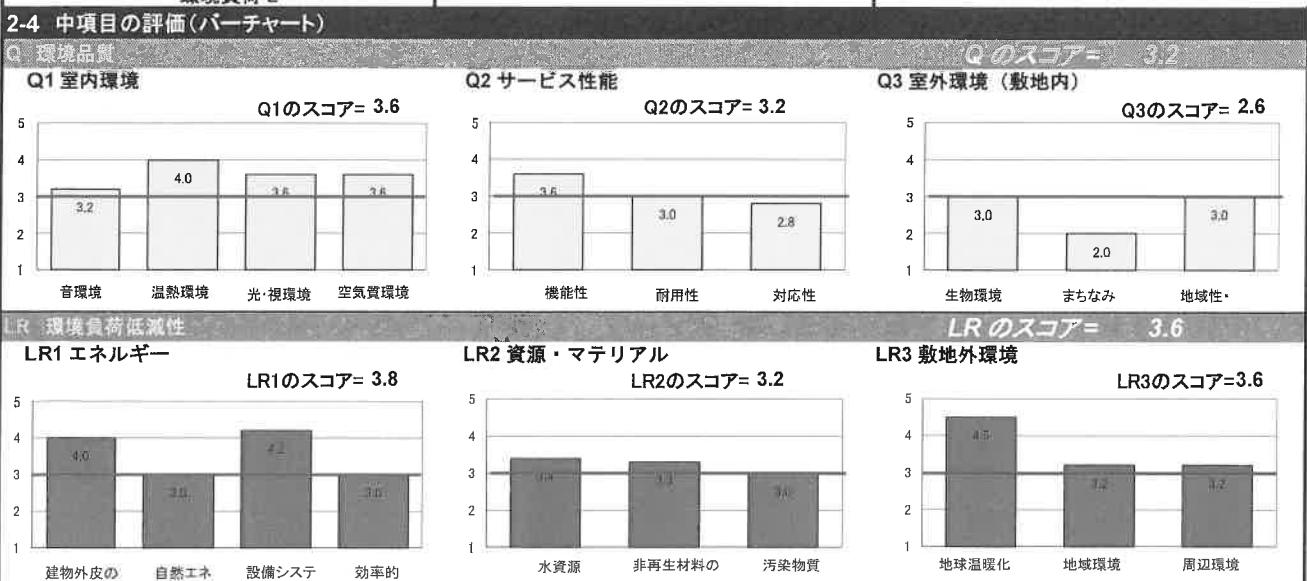
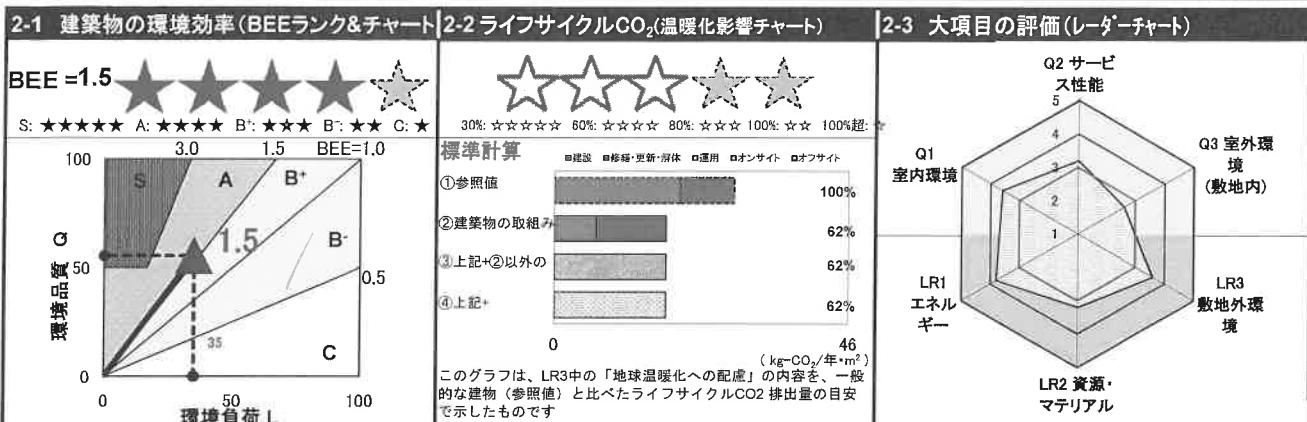


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|------------------|
| 建物名称 | (仮称)長岡市神足稻葉マンション | 階数 | 地上13F |
| 建設地 | 京都府長岡市神足稻葉1番2の1 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 工業地域、法22条地域 | 平均居住人員 | 1,525 人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 集合住宅 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2022年2月 予定 | 評価の実施日 | 2020年4月17日 |
| 敷地面積 | 14,746 m ² | 作成者 | 不二建設株式会社一級建築士事務所 |
| 建築面積 | 3,865 m ² | 確認日 | 2020年4月23日 |
| 延床面積 | 32,452 m ² | 確認者 | 不二建設株式会社一級建築士事務所 |



| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--|---|---|
| Q1 室内環境 | | |
| 隣戸間における生活騒音の配慮として、床・壁遮音性能を高めている。 | Q2 サービス性能 | Q3 室外環境 (敷地内) |
| 住戸部分に大開口の窓を設け日光利用に努めている。 | 情報通信社会に対応し、ゆとりある生活を確保できるよう、大容量プロードバンドを設けている。設備に關し将来にわたり維持管理ができるよう努めている。 | 周辺環境との共有空間をつくり出す工夫をし、アスファルト舗装面ができる限り少なくし、緑地部分を確保している。 |
| LR 環境負荷低減 | | |
| 住戸内の断熱性を高めて熱負荷の抑制に配慮している。高性能設備機器を採用し、省エネルギーに努めている。またコージェネレーションシステムを採用している。 | LR1 エネルギー | LR3 敷地外環境 |
| | 利用できる範囲でリサイクル材料を使用し、分別しやすいように配慮している。 | 周辺環境に配慮し、適切な量の自転車置場・駐車スペースを確保している。 |
| | | また、十分な廃棄物ゴミドラムを設置し、大規模な粗大ごみ置場を設置し、分別にも取り組んでいる。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用・改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される